

つながり

令和6年11月30日 秋号

第61号

岩井山 最明寺

▲ みんなの力で一隅を照らす運動をすすめましょう ▲



腐食も見られる
外廊下の内部

修繕工事中の
本堂外廊下



最明寺本堂の落慶式が執り行われたのは、平成二年のことです。三十年以上の月日が過ぎましたが、風雨にさらされていく外廊下の一部の傷みが酷く、この度修繕工事をするということになりました。

本堂に向かって右側の角の部分になりますが、檀信徒会館と本堂に挟まれた場所であるため、湿気が抜けにくく、他の箇所よりも傷みやよくなっていたようです。

腐食により柔らかくなってしまう部分があり、廊下を歩く際に足元がたわんだり、手すりぐらぐらと揺れてしまいう状態であったため、安全性のためにも修繕をする必要がありました。

お手洗いをご利用の際は外廊下から会館に入る方が多かったかと思いますが、修繕の間は本堂正面から入っていたかどうか、檀信徒会館の玄関からお入りください。ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。



御宿中学校の 町調べ校外学習

去る6月4日、御宿中学校の1年生が、御宿町を調べる校外学習として最明寺に来院しました。いくつかのグループにわかれて町内の事業所等取材に行き、生徒自身が御宿町を調べ、郷土愛を深めること、また、交流を行っている長野県の野沢温泉中学校に御宿町を紹介することを目的として取り組んでいるそうです。

最明寺や御宿町の歴史、名前の由来などについて、住職が本堂で生徒たちに説明をしました。また、生徒たちからの質問では、本堂内の装飾品や仏事についての素朴な疑問など、歴史以外の内容も身近なこととして聞いてくれました。



最近では流行りの漫画やアニメなどでも仏教がモチーフのものがあ、そういった切り口からの説明も興味深そうにメモを取っていました。

後日生徒たちからお礼の手紙をいただきました。町の歴史や仏教について学ぶためにお寺を訪れてくれることは、最明寺としてもありがたく思います。



施餓鬼法要 オンライン中継

コロナ禍の頃より始めた8月の施餓鬼法要のオンライン中継ですが、遠方にお住まいの方や体調にご不安のある方も、同じ日、同じ時間に手を合わせていただけるようにと、継続して実施しております。

一般公開はしておりませんので、決して視聴数は多くありませんが、配信してくれて良かったという声を毎年いただいております。

機材の設営や配信作業は、御宿町内でパソコンや映像関連の仕事をしているピースリースクエアさんに依頼しています。複数台のカメラやスイッチャーを使用し、様々な角度から法要の様子を映していただきました。



配信された法要の様子

御宿町久保でパソコン、インターネット関連業を営んでおります。

突然起こるパソコン周辺のトラブル、ホームページ制作や管理でお困りの方、個人・法人問わず、パソコン周辺のお悩みを幅広くサポートしています。

パソコン販売や各種設定・指導、ご相談などお得なサポート会員（契約）もございます。お気軽にお問い合わせください。

また、各種イベント（学校行事・お祭り等）、各種PR（イベント、企業、商品等）の映像制作も承ります。

ピースリースクエア

TEL&FAX 0470-68-3742

〒299-5102 千葉県夷隅郡御宿町久保2098

<https://p3square.com/>

（ピースリースクエア 井上 洋一 文責）



檀信徒さんのお仕事紹介

賑やかに房州御宿音頭で盆踊り



多世代で賑わう参加者らの浴衣姿

子どもから年配の方まで、多くの参加者で賑わっていた。

房州御宿音頭は「御宿うみそらDAY」や「おんじゅくオーシャントレイル」といったイベントなどでも踊られている。今回のイベントに先立って、御宿町新町の交流スペースかぐやで練習会も実施されており、「かぐやメイト」の集う月曜、金曜には、希望があれば房州御宿音頭の練習をすることもできる。

お盆も近づく8月3日、満願常壽院前の広場を会場として「房州御宿音頭盆踊り」が開催された。ボランティアグループ「かぐやメイト」、「かぐや de アミーゴ」や民間企業「ポケットカンガルー」による共同の企画で、住職がグループのメンバーと交流のあったことから相談を受け、開催の運びとなった。

ボランティアグループによる浴衣の貸し出しや着付けの手伝いなどもあり、夏休みということもあって、



盆踊りを楽しむ様子

研修部からのご案内

最明寺檀信徒会の研修部では、毎月最初の友引の午後二時より、最明寺本堂で写経を行っています。

般若心経の他、写仏などもご用意しております。椅子席で行いますので、足腰にご不安のある方も無理なく写経をしていただけます。

寺院の行事などにより日程が変更となる場合もございますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

新年祈願札、

のぼり幡のご案内

初観音祈願札、観音ののぼり幡奉納を、それぞれ三千円で受付けております。

申込書をご用意しておりますので、祈願をご希望の方は氏名、祈願内容を記入し、代金を添えてお申し込みください。

一月十八日の午前十時より、最明寺観音堂に於いて、初護摩を焚き御祈願いたします。遠方の方は御札の郵送も可能です。

ご不明な点などありましたら、どうぞお問い合わせください。

最明寺ホームページについてのお知らせ

現在、最明寺のホームページはプロバイダーの設定などの問題により、使用する機種やブラウザによっては「指定されたページ（URL）は見つかりません。」と表示され、閲覧できない状態になっています。ご迷惑をおかけしますが、リニューアルに向けて準備中ですのでご了承ください。

親しき仲にも礼儀あり

ビジネスの場や飲み屋などで、政治と宗教と野球の話はしない方がいい、ということ時々耳にします。しかし十月には衆議院選挙が行われ、御宿町でも昨年は町議会議員選挙があり、今年の十二月には町長選挙が行われますので、政治についての話題に触れることが最近が多かったように思います。

そういう話をしない方がいいと、そう言われ始めたのがいつの頃なのか、ふと気になって調べてみました。明確なことはわからなかったのですが、明治時代の本には既に、訪問の際に忌むべき事として政治宗教に関わる話が挙げられていたり、宴会の席では政治宗教談話は禁物だという記載があるようです。

宗教及び政治に関することは人によって趣向が同一でない、としてその理由にも触れられています。

対話なくして理解なし

現代でもビジネスマナーとして様々な本に書かれているようですが、政治や宗教の話は、個人の思想や信条、生活習慣や文化に深く関わっているながら、時としてそれらは対立し、互いに譲れない部分があるのが難しいところなのでしょう。

野球であればシーズン毎に

時事僧談

対立と対話と多様性

住職 松崎馨田^{かでん}

優勝するのは一チームだけですし、選挙であれば当選する人がいれば落選する人もいます。宗教も、食事や生活習慣の中でも禁止事項があったり、教義や信仰もそれぞれ異なります。多様性が叫ばれる時代ですが、勝ち負けのついてしまうことだったり、何かを批判して別の考え方を正当化するなど、どうしても両立できないことがでてきます。

かといって、全く話をしないというのも、それはそれで問題ではないでしょうか。確かに、仕事の場や楽しく食事をする席で議論や対立をするような話は好ましくありません。しかしある程度知った仲なら、互いの人となりを知るためには、むしろ大切な話なのではないかと思えます。宗教なども特に、単なる好き嫌いの話ではなく、個人の生き方に関わる話になってきます。信仰の自由もありますから、親子や夫婦で違う宗教を信仰していることもありませんが、いざ仏事をつとめることになったら、どこかやり方にするかを相談する必要もあるでしょう。

個人の信条は勿論大切ですが、異なる考えを持つ人との相互理解のためには、対話は欠かせません。自分が知らない、理解できない考え方でも、単に否定するのではなく、何故そうなのかを語り合うことで、「自分とは違うけど理解はできる」くらいの受け入れ方もできるかもしれません。

問答セレクション

最明寺の境内や山は四季折々に様々な草木で彩られますが、ちょうどこの原稿執筆時点では、毎日のように銀杏の実が落ちてきています。お参りの方とお話しをすると、子どもの頃は毎年拾いに来たのよ、なんて昔話を伺うこともあります。

問：最明寺境内に落ちている銀杏は拾っていても良いですか？

答：はい、いつでもお持ちいただいて構いません。その時々庭掃除の都合で、境内の一部に寄せてあったり、裏の方に積んであることもあります。軍手や袋など、必要な道具はご用意くださいますようお願いいたします。

10ブロック檀信徒会日帰り研修旅行

南総教区第10ブロック檀信徒会の企画により、10月2日に日帰り研修旅行が実施された。コロナ禍を受けて長らく企画は中止になっており、実に5年振りの研修旅行となった。コロナ前と比べると幾分参加者は少なくなってしまったものの、御宿、勝浦地区の檀信徒や住職合わせて43名、ちょうどバス1台での旅となった。

今年は寒暖定まらぬ日も多かったが、台風17号の通り抜けた10月2日は穏やかな旅行日和となり、出発のバスの集合の頃から、久しぶりの研修旅行に喜ぶ参加者らの声があった。御宿を出発して一路上野寛永寺へと向かう。教区での研修旅行の際は、由緒ある寺院の堂内で読経させてもらえる機会があるのも一つの楽しみだが、寛永寺創建400周年記念事業の一環として、令和6年2月より根本中堂改修工事が行われており、本堂内への参拝は叶わなかった。しかしたまたま記念事業の年にお参りできたというのも、一つのご縁ではあろう。

一同で本堂前に並び、般若心経読経の後には、最後の将軍、15代慶喜が謹慎生活を送った葵の間へ案内され、寛永寺の歴史、徳川家の歴史についてお話を伺った。また、国指定重要文化財であり、通常は非公開となっている徳川歴代将軍御霊廟も参拝させていただき、江戸の長い歴史に思いを馳せて時を過ごした。

その後は浅草寺へ場所を移し、仲見世通りを各自が思い思いに散策。また、豊洲千客万来でも各々が土産物などを見ながら自由に過ごした。インバウンド観光に力を入れている成果か、外国人観光客の姿が多く見られた。

久しぶりの研修旅行ということに加え、全員がバス1台での移動ということもあり、各寺院の参加者らは皆、地域の仲間として和気藹々と過ごしていた。研修もさることながら、檀信徒同士の交流を深める機会としても、有意義な一日となった。



寛永寺根本中堂前にて

第51回天台宗檀信徒祖山参拝研修会

去る10月30日、31日に、比叡山延暦寺諸堂、延暦寺会館を会場として、天台宗檀信徒祖山参拝研修が実施された。全国の各教区の檀信徒を対象としており、南総教区からは4名の参加となった。



10ブロックからの研修会参加者

観光や参拝をメインとした通常の旅行とは違い、研修を中心とした日程となる。1日目には全体の挨拶や説明に続き、曼荼羅を用いて仏様とご縁を結ぶ結縁灌頂説戒、写経、坐禅止観などの研修。2日目は早朝より集合して坐禅止観をし、根本中堂で朝のお勤めに随喜。皆で朝食を済ませた後、結縁灌頂、法話、御詠歌の拝聴と、研修会ならではの充実した内容で、参加者にとっても貴重な体験になったことと思う。

イソヒヨドリ



スズメ目ヒタキ科に分類される鳥の一種。和名どおり海岸や岩山などで多く見られます。磯や岩場に多く生息し、外見がヒヨドリと似ているところからこの和名がついていますが、鳥類学上ではヒヨドリ科ではなくヒタキ科に分類されており、まったくの別種の鳥です。

春から夏にかけて日本に渡来し、秋に日本を離れ越冬地に移動する。と、渡り鳥に分類されておりますが御宿町内では冬季にも普通に視られます。

体長は20cmほどで、ヒヨドリよりもやや小さい。体色は亜種によって異なりますが、日本に分布するイソヒヨドリの、オスは写真のように青い色が目立つ鳥です。（オスは青い部分が多いため、「幸せの青い鳥」と呼ばれることもあるそうです）

一方、メスは全身がうずら模様の茶褐色で薄い水色が入ってます。

鱗のような模様があり、雌雄の区別は容易です。若鳥のオスはメスの個体と近似の羽色をしており、雌雄の区別が難しいです。

繁殖期が近づくと、正面の腹の下部からだんだん赤褐色に変色していきます。



常 壽 ナウ！

ホールが活用されています 死者の祭り



ガイコツメイクの参加者

御宿町はメキシコとの繋がりがあるのに、メキシコらしいイベントやお店もないのは勿体ないと思い、6年前に数名でイベントを企画してスタートしました。今年で7回目となりました。

死者の祭りは、メキシコのDia de muretosという日本のお盆にあたるお祭りで、亡くなった人が帰ってくる日のようです。

祭壇を作り、ご馳走やマリーゴールドを飾って、歌ったり踊ったりして賑やかに過ごす日だそうです。

メキシコフードや、死者の日に食べられるパンやお菓子を、飲食店を営む仲間につってもらって会場で販売したり、大道芸や音楽パフォーマンスやミュージシャンをお呼びして会場を盛り上げてもらっています。

亡くなった人を想い、今生きている人たちが賑やかに楽しく過ごすイベントです。今回は雨のため会場を貸していただきました。ありがとうございました。
三 成 桂



ホールの舞台上で子供たちが楽しみました



お客様でにぎわうエントランスホール

大切に見守りたい

満願常壽院に池を作ってから、生き物が少しずつ住み着く様になりました。

雨の日に、庭でモリアオガエルを見つけました。モリアオガエルは普段、体が緑色です。写真は周りに同化して体の色を変えているところです。

モリアオガエルは、池などの水面に突き出た木の枝に、白い泡状粘液に包んで産卵します。そこで、池の水面に枝が突き出す様にもみじの木を植えました。

モリアオガエルは、全国的に絶滅危惧種に指定され、千葉県では絶滅危惧種Ⅱ類に指定されています。珍しい生き物が身近に暮らしていることで、身の回りの自然を注意して見るようになり、環境にも少しは配慮しようかなと思いました。
満願常壽院 住職



公 告

1▶ 本堂外廊下の修繕中です

2▶ 最明寺ホームページのリニューアル中です

上記二点について公告します。檀信徒の皆様には、今後ともなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



本堂外廊下修繕の様子

年末年始の行事ご案内

12月18日	納めの観音	観音堂	31日	除夜の鐘	
1月 1日	修正会	本 堂	1～3日	大般若転読会	本 堂
4日	祈願札の配布	町内檀家	8日	初薬師	境内薬師堂
18日	初観音	観音堂	19日	初詣り	奥の院三峯社

ときより俳壇

寝返りの打てぬ母拭く夜長かな 石橋 敲
 波頭なき海の鈍色すさまじや 松村美津子
 さようならやさしく逃がす赤とんぼ 庄司 範義
 左手はいつもポケット冬隣り 井出 昌子
 目を剥いて斜に仰向く案山子かな 李 泰久
 名月や心ときめく黙の夜 近藤 風花
 冬隣り膝いたわりつ散歩道 松田 栄範
 焼き栗の袋片手にパリの街 西川 百
 越し年や想い起こせば友の顔 山下茶ノ木
 恋人を送る夜道や虫時雨 高橋 英彦
 それはそれこれはこれだよくご飯 西山 凜乎
 ぶどう棚つま先立ちの味見かな 内山 一果
 野の花がくすぐったいと秋の雨 安岡 信子
 病室に庭柿ふたつ夫婦る 佐野志保子
 影動き蟬螂が斧空を切る 植野 千世
 おんじゆく俳句愛好会

ご冥福をお祈りいたします

地区	氏 名	年 齢
千葉市	渡邊千代子	九一才
新 町	君塚三千代	九九才
浜	伊藤 照江	八十才
須 賀	君塚きみ子	九六才
御宿台	和田 健	九四才
御宿台	久保田 博	九五才
勝浦市	江澤 久子	七六才
東 京	鶴岡 静子	九十才
東 京	中村 哲夫	八三才
新 町	三上あや子	九三才
須 賀	鶴岡 よし	九十才
須 賀	君塚 房子	百一才
久 保	井上 静枝	百一才

地区名は最明寺の檀徒区分に準じております。実際の住所表示とは異なる場合があります。



発 行 千葉県夷隅郡御宿町
 岩井山 最 明 寺
 発行責任者 総代会長江澤重一
 編集 檀信徒会つながり編集部